

## <ポイント版> ぎふ経済レポート（令和2年12月分）

### 【製造業】

- 製造業は、10月の鉱工業生産指数では、化学工業を除く、多くの主な産業で上昇した。ヒアリングでは、中国やアジア地域を中心に受注等が回復基調にあるとの声があった一方で、航空機関連部品の回復のめどが立っていないという声のほか、昨年10月に他県で発生した半導体工場の火災による影響を受けているという声もあった。

### 【地場産業】

- 地場産業は、10月の鉱工業生産指数では、パルプ・紙、繊維工業を除いて、多くの産業で上昇した。ヒアリングでは、法人向けや国内向けの売上等が厳しい一方で、ECサイトを構築し、個人向けの売上げが好調となったとの声や海外、特にアジア圏では需要が堅調であるとの声があった。

### 【設備投資】

- 設備投資は、11月の金属工作機械受注額について、国内向けは24ヶ月連続で前年を下回ったが、海外向けで2ヶ月ぶりに前年を上回り、全体としては25ヶ月ぶりに前年を上回った。ヒアリングにおいては、生産性向上に向けた設備投資を予定する声や投資内容を精査しつつ、堅調な業界向けの製造設備への投資を進める声があった。

### 【個人消費】

- 個人消費は、家電大型専門店、コンビニ、ホームセンター、百貨店・スーパー、ドラッグストアの販売額は全て増加した。ヒアリングにおいては、客数は前年比で減少、売上は前年比で増加の傾向が続いていることや、帰省自粛の影響でお正月用の大勢で食べるような大皿の食品の注文が大きく落ち込んだとの声があった。

### 【観光】

- 観光は、新型コロナウイルス感染症の影響により、観光客数、宿泊者数ともに前年同月を下回った。ヒアリングでは、感染拡大の影響やそれに伴うGoToトラベルの一時停止によるキャンセルが増加しているとの声や大人数での忘年会、新年会の開催がないとの声が聞かれた。

### 【資金繰り】

- 企業の資金繰りは、11月の制度融資実績で、引き続き、件数、金額ともに前年同月比で大きく増加したが伸びは鈍化している。金融機関からのヒアリングでは、年末の実質無利子・無担保融資の申込みについて、想定よりも落ち着いていたとの声が聞かれた。

### 【雇用】

- 雇用面は、11月の有効求人倍率は1.27倍と3ヶ月連続で上昇した。ヒアリングでは、人材不足感で中途採用を増やすとの声もある一方、繊維工業などでは余剰感があるとの声も聞かれた。

### 【景気動向】

10月の景気動向指数（一致指数）と11月の中小企業の景況感は、ともに上昇した。